

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】令和 5 年 3 月 1 日(2023.3.1)

【国際公開番号】WO2022/210600
【出願番号】特願 2022-556668(P2022-556668)
【国際特許分類】

C 1 1 B 3/04(2006.01)
A 2 3 D 9/02(2006.01)
A 2 3 D 9/007(2006.01)

10

【F I】

C 1 1 B 3/04
A 2 3 D 9/02
A 2 3 D 9/007

【手続補正書】
【提出日】令和 4 年 12 月 14 日(2022.12.14)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粗パーム油（C P）の精製工程において、脱酸及び／又は脱ガム処理後に、脱色作業工程に供する際に、酸を水溶液添加する工程を含み、脱色工程後の油脂中のリン濃度が 10 p p m 以下、230 ～ 260 での脱臭工程後の油脂が下記を満たす、物理精製パーム油（R B D P）の製造方法。

脱臭工程後の油脂品質：

- ・グリシドール及びグリシドール脂肪酸エステルの含有量が、グリシドール当量で 1 . 5 m g / k g 以下
- ・C D M 安定性時間が 10 時間以上

【請求項 2】

前記、酸を水溶液添加する工程において、酸として下記の水溶液を 0 . 0 1 ～ 10 重量 % 添加する、請求項 1 に記載の、物理精製パーム油（R B D P）の製造方法。

- ・濃度 1 ～ 85 重量 % である、クエン酸及び／又はリン酸水溶液

【請求項 3】

前記、酸を水溶液添加する工程が、脱色工程における白土と油脂の混合物に、酸水溶液を添加する工程である、請求項 1 又は請求項 2 に記載の物理精製パーム油（R B D P）の製造方法。

40

【請求項 4】

前記、脱臭工程が下記条件である、請求項 1 ～ 請求項 3 のいずれか 1 項に記載の物理精製パーム油（R B D P）の製造方法。

- ・真空度 100 ～ 800 P a
- ・水蒸気使用量 0 . 5 ～ 5 重量 %

【請求項 5】

請求項 1 ～ 請求項 4 のいずれか 1 項に記載の物理精製パーム油（R B D P）の製造方法による、物理精製パーム油（R B D P）のグリシドール及びグリシドール脂肪酸エステルの低減方法。

50